令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	議会活動補助事務				コード	90010100-0201	
中事業名	議員活動支援事務				計画区分	―	
担当部等	議会事務局		担当課等	議事課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	90	体系外　体系外		会計	1	一般会計	
基本施策	01	体系外		款	01	議会費	
主要施策	01	体系外		項	01	議会費	
				目	01	議会費	
				大	02	議会活動補助事務	
				中	01	議員活動支援事務	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	議員提出議案及び意見書等の文書作成の支援や、行政視察準備、政務活動費交付等を含む各種調査及び研究に関する情報及び資料提供等の支援、議会報告会の開催や議会だより発行業務の支援を行う。
対象	議員活動
意図（目的）	議員が研修、視察や議会報告会の開催など円滑に活動できるよう支援する。
手段	委員会の視察、各研修会の参加、議会報告会の開催、議会だより発行等の支援

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			189,208	182,564	194,229	181,213	191,226	185,034	188,269
財源内訳	特定財源	国庫支出金	83	0	106	0	106	0	100
		県支出金	41	35	53	55	53	58	50
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		189,084	182,529	194,070	181,158	191,067	184,976	188,119

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	コロナ禍において議員活動の支援ができるよう、事務局として情報の収集及び資料の提供や日頃から先進事例などの情報取得を心がけ、さらなる知識の向上に努める。また、標準会議規則改正に伴う日進市会議規則改正に取り組み、議員の活動しやすい環境を整える。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	議会改革や議会ICT推進等の情報収集や資料提供等の後方支援を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン会議システムを活用して議会報告会を開催したり、議会運営委員会行政視察が行えるよう後方支援を行った。また、議場等で議員の情報端末等がインターネット接続できるよう無線LAN化環境整備を行った。 SDGsに関する議員研修会を実施した。

成果	オンライン会議システムによってコロナ禍においても、議会報告や市民との意見交換をすることができ、開かれた議会としての活動を支援することができた。 議場等でインターネット接続できるよう無線LAN化環境整備を行ったことで、ペーパーレス化を進める事前準備ができた。
課題	議会タブレット導入に向けての規程の整理を行い、議会ICT推進に向けて関係部署との調整を図っていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	議会事務局は議員活動の後方支援が業務であり、主体はあくまでも議員である。事務局として議員の調査・研究に関する情報・資料の提供や意見書案作成など、必要とされる支援業務が遂行できた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		コロナが収束に向かう可能性があることも視野に入れ、議員活動の支援ができるよう事務局として情報の収集及び資料の提供や日頃から先進事例などの情報提供を心がけ、さらなる知識の向上に努める。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		タブレット端末導入等の議会ICT推進に向けて情報収集や機器の導入に関する後方支援を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	行政視察（常任委員会・議会運営委員会・政務活動）における視察先団体件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	40.00	32.00	16.00	14.00	15.00	17.00	20.00

【アウトカム指標】

指標名	議員提出議案・意見書・決議・規定・申し合わせ等件数の前年度比					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	90.00	100.00	100.00	111.00	100.00	150.00	100.00
式	本年度件数／前年度件数×100						
指標の狙い	先進地視察や研修会への参加により、議員自身の能力が高まり、議会改革を推進し、政策的な提案や意見書を国等へ提出する等、市民の要望に沿った提案ができる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	議会活動補助事務			コード	90010100-0202
中事業名	正副議長秘書事務			計画区分	―
担当部等	議会事務局		担当課等	議事課	

総合計画		コード	名称	予算科目		コード	名称
	基本目標	90	体系外 体系外		会計	1	一般会計
	基本施策	01	体系外		款	01	議会費
	主要施策	01	体系外		項	01	議会費
					目	01	議会費
					大	02	議会活動補助事務
					中	02	正副議長秘書事務
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	出席依頼のある各種催事への公務出席や全国・東海・愛知県・尾三11市議会議長会等で開催される会議等への参加を支援する。
対象	正副議長の公務活動
意図（目的）	正副議長の秘書事務を行う。
手段	正副議長のスケジュール調整、各議長会負担金の支払い、会議出席時の旅費手配等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			1,782	1,099	1,615	530	1,578	603	1,622
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		1,782	1,099	1,615	530	1,578	603	1,622

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	正副議長が議会の代表者として公務を果たすことができるよう、関係部署との連携を密にし、過去の調整実績を基に、正確かつ迅速な事務を遂行していく。また、公用車の調整について秘書室との連絡体制を整える。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	正確かつ迅速な事務を効率的に遂行するため、調整実績をデータ化し、公用車の調整について議事課と秘書室とで共有できるようにする。

令和 3年度に取り組んだこと	議長への出席依頼のあったもののうち、議会公務等と調整を行い、円滑に公務に従事できるよう調整を行った。また、公用車の使用について庁内グループウエアのスケジュール機能を活用し秘書室との連絡体制を整えた。

成果	正副議長の公務を円滑に滞りなく従事していただくことができた。
課題	正副議長が円滑に公務に従事できるよう行事等の内容を正確に把握するため、担当課の負担になることなく事前に行事の概要等の情報収集する。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	コロナ禍で直前のスケジュール変更等があったが、出席依頼のあった行事と議会公務等との調整を行い、適正なスケジュール管理ができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	新型コロナウイルス感染症が収束してきた場合、公務も以前の件数に戻ってくるため、議会公務との調整を行い、市議会グループウエアを活用するなど正副議長のスケジュール管理を徹底し、正確かつ迅速な事務を遂行していく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、正確かつ迅速な事務を効率的に遂行する。			

【アウトプット指標】

指標名	出席件数（正副議長他代理出席含む）の総件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	98.00	98.00	49.00	12.00	15.00	20.00	30.00

【アウトカム指標】

指標名	行事等への出席率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	86.00	86.00	90.00	80.00	83.00	90.90	90.00
式	行事等に出席（正副議長他代理出席含む）した件数／出席依頼件数×100						
指標の狙い	正副議長スケジュールの適正な調整と管理が目的。議会公務と重複する場合もあることから、内容の重要度等を重視し円滑な調整を行う。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	議会管理運営事務				コード	90010100-0301	
中事業名	議会運営事務				計画区分	―	
担当部等	議会事務局		担当課等	議事課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	90	体系外　体系外		会計	1	一般会計	
基本施策	01	体系外		款	01	議会費	
主要施策	01	体系外		項	01	議会費	
				目	01	議会費	
				大	03	議会管理運営事務	
				中	01	議会運営事務	
根拠法令・条例等	地方自治法、日進市議会会議規則、日進市議会委員会条例						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	本会議のインターネット中継を行い、閉会後には録画映像を配信する。 また、本会議や委員会を円滑に運営するため、映像配信機材の点検、修繕を行い、事前申し込みよる会議等での傍聴者手話通訳者派遣を実施する。
対象	本会議、委員会等
意図（目的）	本会議、委員会等の議事運営のために実施する。
手段	本会議映像の配信業務委託、傍聴者手話通訳者派遣、議事運営に関する知識を深めるため職員が事務研究会や研修会に参加する等。

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			1,857	1,545	2,427	4,640	3,126	3,518	3,072
財源内訳	特定財源	国庫支出金	33	0	33	0	33	0	33
		県支出金	17	14	17	0	17	0	16
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		1,807	1,531	2,377	4,640	3,076	3,518	3,023

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	引き続き、インターネットによる中継、録画配信を継続しながら、新たに開始した委員会等の中継についての検証を行い、必要に応じて、見直し等の検討を行う。 議案質疑の通告書をホームページに掲載し、開かれた議会運営に努める。 また、不具合の見つかった発言残時間表示システムについて、修繕等を検討・実施する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	中継、録画配信する会議の範囲を必要に応じて検討、見直しつつ、インターネットによる中継、録画配信を継続していく。 音響・映像配信等の設備について、定期的に保守点検を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	本会議や委員会の生中継・録画配信を円滑に行えるよう処理した。 議案質疑の通告書、各常任委員会の審査に係る参考資料のホームページ掲載を検討、開始した。不具合の起きていた、発言残時間表示システムの設備について検討、購入した。

成果	本会議や委員会の生中継・録画配信を円滑に行うことができた。 議案質疑の通告書、各常任委員会の審査に係る参考資料をホームページに掲載した。 不具合の起きていた、発言残時間表示システムの設備を購入した。
課題	議会運営における議案、その他予算書などの膨大な紙媒体資料の準備や整理などにおいて、多大な時間と労力を費やしている。これらの資料をデータ化し、情報の円滑な共有・伝達を図るなど、ペーパーレス化推進のため、タブレットを活用するなどの検討が必要である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	引き続き、インターネットによる中継、録画配信を継続しながら、必要に応じて、見直し等の検討を行う。 ペーパーレス会議に向けた検討部会を立ち上げ、具体的な検討に向けた準備を進めた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		引き続き、本会議等の生中継、録画配信は必要であり、現状のまま継続する。 議会ＩＣＴ化に向けた具体的な検討を進めていく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		中継、録画配信する会議の範囲を必要に応じて、検討、見直しつつ、インターネットによる中継、録画配信を継続していく。 ペーパーレス会議の実現に向けて、議場に整備されたＷｉＦｉ環境を生かすなど、ＩＣＴ技術の最大限の活用を図る。			

【アウトプット指標】

指標名	本会議、常任委員会、特別委員会及び議会運営員会の開催延べ日数				単位	日
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	53.00	75.00	53.00	92.00	81.00	113.00	93.00

【アウトカム指標】

指標名	議案等の審議状況					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
式	議事日程に上げた議案、請願等の件数／市議会又は議長あてに提出された議案、請願等の件数						
指標の狙い	市議会又は議長あてに提出された、議案、請願等を、定例会又は臨時会の会期内の日程に上げ、円滑に議会運営を行う。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	議会管理運営事務				コード	90010100-0302	
中事業名	議会会議録作成事務				計画区分	―	
担当部等	議会事務局		担当課等	議事課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	90	体系外　体系外		会計	1	一般会計	
基本施策	01	体系外		款	01	議会費	
主要施策	01	体系外		項	01	議会費	
				目	01	議会費	
				大	03	議会管理運営事務	
				中	02	議会会議録作成事務	
根拠法令・条例等	地方自治法第123条、日進市議会会議規則第85～89条、日進市議会委員会条例第30条						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	会議録を正確、迅速に作成し、会議録検索システムにてインターネットで配信し、市民への情報提供を推進する。
対象	本会議及び委員会の会議録
意図（目的）	会議録を作成し、保存・閲覧ができるようにする。
手段	会議録作成業務委託や音声認識システムの利用　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			5,075	3,651	5,123	3,979	4,560	3,814	4,560
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		5,075	3,651	5,123	3,979	4,560	3,814	4,560

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	会議録の作成に、大幅な時間を割いているため、可能な限り音声認識システム及び会議録作成業務委託を活用し、効率化を継続していく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	本会議会議録の冊子作成について、電子データの利用により、作成部数の見直し、削減を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	本会議及び委員会等の会議録を正確且つ迅速に作成し、保存・閲覧ができるようにした。 本会議及び議案審議等審査をした委員会会議録について、会議録検索システムに掲載し、広く市民へ情報提供した。また、本会議会議録の冊子作製について、必要部数の検討・精査を行った。

成果	音声認識システム及び会議録作成業務委託を活用し、会議録作成・調整の効率化を図った。 また、本会議会議録の冊子作製の必要部数の見直しを行い、部数を削減した。
課題	必要な会議録の作成に時間を割かれているため、音声認識システム及び会議録作成業務委託を活用し、効率化を継続していく。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	地方自治法、会議規則及び委員会条例に規定された会議録の作成は、必要であるため、正確性、効率性を第一に考え、計画を立てて作成事務を行い、期限までに作成することができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		会議録の作成については、必要であるので、現状のまま継続する。 議員のタブレット導入に伴い、議員への会議録の冊子での配付について、取り扱いの検討を行う。 事務効率化や経費削減のため、Windowsの音声認識を活用することを検討する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		音声認識やＩＣＴ技術の活用による会議録調整について研究し、事務効率化や負担軽減を図っていく。			

【アウトプット指標】

指標名	本会議及び本会議以外の会議の会議録作成件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	78.00	78.00	60.00	92.00	85.00	131.00	100.00

【アウトカム指標】

指標名	会議録調製期限の保持					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
式	期限までに調製できた会議録の件数／本会議及び本会議以外の会議のうち調製期限のある会議録の件数						
指標の狙い	調製期限を保持することで、適切に会議録の配布又は委員長報告を行う。						